

し た ら 設楽ダムだより

第24号 2008.1

国土交通省中部地方整備局 〒441-1341
設楽ダム工事事務所 新城市杉山字大東 57
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

	TEL	FAX
総務課	(0536)23-4331	(0536)23-4401
工務課 調査設計課	(0536)23-4387	(0536)23-4408
設楽庁舎 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字川原田 1-2		
用地第一課 用地第二課	(0536)62-1290	(0536)62-1291

平成20年新年のご挨拶



事務所長 山内 博

皆様新年あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。

昨年四月には、設楽町田口の設楽庁舎で職員等約二十名が業務を開始するとともに、愛知県も田口地内にダム対策本部を設置し、水没者の皆様の生活再建と地域振興を図る体制が整いました。

また、七月末には、足掛け四年にわたる環境アセスメント手続きを完了。アセスに沿って工事をすれば環境への負荷を最小限にできることとされています。

九月末には、地権者の皆様の代表者である「ダム対策協議会」の役員の皆様と進めていた補償基準の策定作業のうち、地目認定の作業を終了することができました。

さらに十二月には、ダムの事業費、費用負担の国交省案を愛知県へ提示しました。

顕微鏡の写真



(全長約1cm)

産まれたばかりのネコギギの赤ちゃん

現在は、「設楽ダム基本計画」の策定に向けた作業を進めているところです。

この基本計画の策定が行われますと補償基準の提示等の具体的な事業の実施に着手してまいりたいと考えております。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

右側に一枚の写真を紹介しました。中部地方は、東西の交流点で生態系が豊かです。天然記念物の淡水魚四種のうち二種が中部にいるのもこのためといわれます。

特にネコギギは、伊勢湾と三河湾に流れ込む川にのみ生息する魚で、絶滅の恐れがあります。

設楽ダムの建設予定地にも多く生息しており、その保全に向けネコギギの飼育に取り組んでいましたが、昨年の七夕の日に赤ちゃんが生まれました。写真はその仔魚の顕微鏡写真で、ネコギギの特徴であるヒゲが確認できます。十月末には、育ったネコギギの子供を豊川に放流しました。ネコギギ保全の第一段階をクリアし、多くの飼育関係者にとつて去年で最も幸せな出来事でした。

豊川の豊かな自然を守りつつ、水源地とユーザーに優しいダムづくりを目指して参ります。

引き続き皆様のご理解とご協力としてご支援をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「設楽ダム建設事業に関する説明会」を開催しました



12月20日に愛知県及び農林水産省東海農政局に対し、設楽ダム基本計画案（建設に要する費用及びその負担に関する事項等）について説明をしました。

説明概要

◎ 設楽ダム建設に要する費用 約二、〇七〇億円
◎ 貯留量の用途別配分（案）

総貯留量

洪水調節容量	九八、〇〇〇千 ³ m
流水の正常な機能の維持容量	一九、〇〇〇千 ³ m
かんがい用水容量	六〇、〇〇〇千 ³ m
水道用水容量	七、〇〇〇千 ³ m
堆砂容量	六、〇〇〇千 ³ m

◎ 設楽ダム建設に要する費用の負担（案）

・ 洪水調節、流水の正常な機能の維持 ↓ 七七、七%

・ かんがい用水

・ 水道用水

うち	国負担	七〇%
うち	県負担	三〇%
うち	かんがい負担	一一、三%
うち	国負担	六三%
うち	県負担	二七%
うち	水道用途負担	一一、〇%
うち	水道用途負担	一〇〇%

リレー記事



建設専門官

かとう としふみ
加藤 敏文

新年明けましておめでとございます。本年もよろしく願います。昨年の4月から環境関係の業務を担当している調査設計課建設専門官の加藤です。

生まれは静岡県の西部を流れる天竜川の支川沿いにある旧水窪町（現浜松市）です。現在は、豊橋市で妻1人と子供2人の4人暮らしです。

設楽ダム工事事務所には今回で2度目の勤務となりますが、前回は平成12、14年度の3年間に籍しました。その時の出来事として豊川水系河川整備計画の策定や「設楽ダム

用地測量及び物件調査に関する覚書」の締結等があり、日々バタバタしていたことが、ついこの間のことのように思い出されます。

さて話は変わりますが、設楽ダム建設予定地周辺にはネコギギ、クマタカを始めとして貴重な動植物が確認されています。昨年6、7月に環境影響評価（アセスメント）の評価書を公告・縦覧しましたが、この評価書ではダム建設による環境への影響を予測し、これら貴重な動植物の保全に取り組んでいくこととしています。

今後は事業の進捗に併せ、評価書の保全対策を確実に実行できるよう汗をかいていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

